



うつくしきもの

校長 尾崎 淳一

平安時代、清少納言によって書かれた随筆『枕草子』の第151段は、「うつしきもの」について語られています。

うつしきもの。瓜（うり）にかきたるちごの顔。雀の子の、ねず鳴きするにをどり来る。二つ三つばかりなるちごの、いそぎてはひ来る道に、いとちひさき塵のありけるを目ざとに見つけて、いとをかしげなるおよびにとらへて、大人などに見せたる、**いとうつくし**。頭はあまそぎなるちごの、目に髪のおほへるをかきはやらで、うちかたぶきて物など見たるも、**うつし**。

当時の「うつし」という形容詞は、「美しい」ではなく「かわいらしい」という意味があります。第151段には、約1000年前、清少納言さんが「かわいらしい♡」と思ったものが羅列されているのです。上の文章だけでも、①「瓜に描いた幼い子どもの顔」、②「ねずみの鳴きまねを聞き、飛びはねてやって来る雀の子」、③「小さなごみを見つけて、大人に見せる幼い子」、④「目に髪がかかったまま、首を傾けて物を見る子」の四つが示されています。他にも、**小さいものはみんな可愛らしい**と言っています。私も小さい頃は「かわいい!!」と言われていたのですね。記憶も記録もございませんが……。

それでは、令和に生きる私にとって「うつしきもの」＝「美しいもの」を特別に紹介しましょう。

① 茶華道部からいただく草花

右の写真は「ミズヒキ」（花言葉：感謝の気持ち）という植物です。長い枝にびっしりと小さな可愛らしい花が並び、まさに**私好みのキュートな見た目**です。ちなみに、植物の名称や花言葉などの情報は、全て**茶華道部の皆さん**から教えていただいています。いつも本当にありがとうございます。次の草花が楽しみです！



② 竜北中学校の環境

以前も紹介しましたが、**竜北中の校舎内**は環境が整っていて、歩いていても気持ちがいいです。700人以上が生活する中学校としては、驚くべき美しさです。全ての竜北生が、**次の人、周りの人のために気を配っているから**でしょう。右の写真は、柵や線に頼らなくても、綺麗に揃っているトイレのスリッパです。



③ 竜北生の心

最近、**竜北生の善行**について、**地域の方から2件の情報**をいただきました。いずれも、交通事故の現場に遭遇し、**迷うことなく手助け**をしたというものです。事故の当事者は、どれだけ心強かったことでしょう。「**何とい子たちなのでしょう**」と絶賛をいただきました。もちろん、校長室で話を聴き、「**竜北賞**」を贈りました。



人間は、「置かれた環境から強く影響を受け、行動や考え方を変える生き物」と言われています。「**うつしき環境**」で「**うつしき心**」を育てましょう。「**竜北生、Go!!**」

4月からの4か月間、保護者の皆様には多大なご支援を賜り、誠にありがとうございました。明日から、45日間の超・長期の休暇が始まります。各学年から「**夏休みのしおり**」を配付しましたのでご覧ください。竜北生が健康・健全に過ごせるようお願いしています。

（令和8年7月17日）